

平成30年度「学びに向かう学校」づくり生徒推進フォーラム

【目的】「中学校学力向上対策3つの提言」推進重点校の生徒等が一堂に会し、各学校の生徒による「学びに向かう学校」づくりの取組について発表・協議をすることで、県内の中学校の取組の一層の充実を図るとともに、協議会の成果を発信することで、県内の中学校（義務教育学校後期課程を含む）の「学びに向かう学校」づくりを推進する。

【主催】大分県教育委員会

【期日】平成30年8月2日（木）13:30～16:05

【場所】別府ビーコンプラザ レセプションホール

【参加校】中津市立中津中学校 杵築市立宗近中学校 別府市立朝日中学校
大分市立大在中学校 大分市立東陽中学校 臼杵市立西中学校
佐伯市立佐伯城南中学校 豊後大野市立三重中学校 日田市立北部中学校

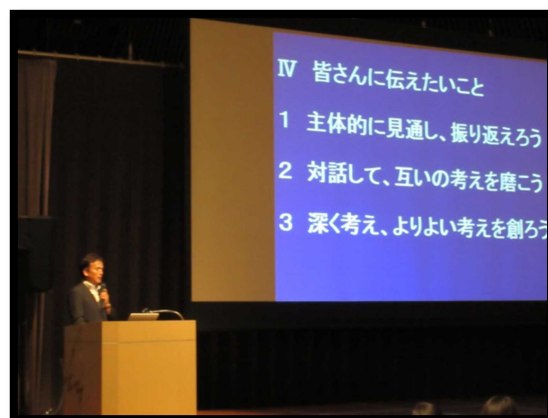
【内容】

I 開会行事

大分県教育委員会挨拶 大分県教育庁義務教育課長 米持 武彦

【要旨】

- 学校は楽しいところでないといけない。しっかり考え、話し合い、先生たちの指導を受けながら、問題解決をしていくとよりよい未来が待っている。
- より良い学校を創っていくことは、より良い学びを創っていくこと。
- アクティブ・ラーニング。先生方が自分たちの指導力を高めるためにキーワードとしている言葉。
 - ・主体的に学ぶ……関心をもつこと。自分の将来に対しどう関連しているか考えること。見通しを持ち学ぶこと。振り返って自分の学習を確かめること。
 - ・対話的に学ぶ……生徒同士で話し合うこと。先生や地域の方と対等に話すこと。地域の先人の考え方を学ぶこと。
 - ・深く学ぶ……知識を関連付けて問題の答えにしていくこと。みんなで話し合い一番よい答えを見つけ出すこと。答えは聞くものではなく、自分達で作り上げて行くもの。
- 学びを深めていくためにはどうすればよいか。
 - ①学校の教育目標を自覚する（どんな目標に向かって教育を受けているのかを確認する）
 - ①取組を重点化・構造化する。
 - ②学習・授業の目標を設定する。
 - ③魅力的な、キャッチコピーをつくる。
 - ④目標達成の評価を行う（活動を振り返る）。
 - ⑤検証（PDCA）サイクルを回転させる（計画的に）。
 - ⑥郷土の先人の言葉を活用する（先人の考えを学ぶ）。
 - ⑦プレゼンテーションの力を磨く。
 - ⑧学級・学校を越えて対話を増やす。
 - ⑨組織と活動を整理する（実社会との関わり）。
- 最後に皆さんに伝えたいこと。
 - ①主体的に見直し振り返ろう。②対話して互いの学びを聞こう。③深く考えよりよい考えを創ろう。



II ポスターセッション



中津市立中津中学校



豊後大野市立三重中学校



佐伯市立佐伯城南中学校



日田市立北部中学校



別府市立朝日中学校



大分市立大在中学校



大分市立東陽中学校



臼杵市立西中学校



他校の説明を真剣に聴く生徒たち



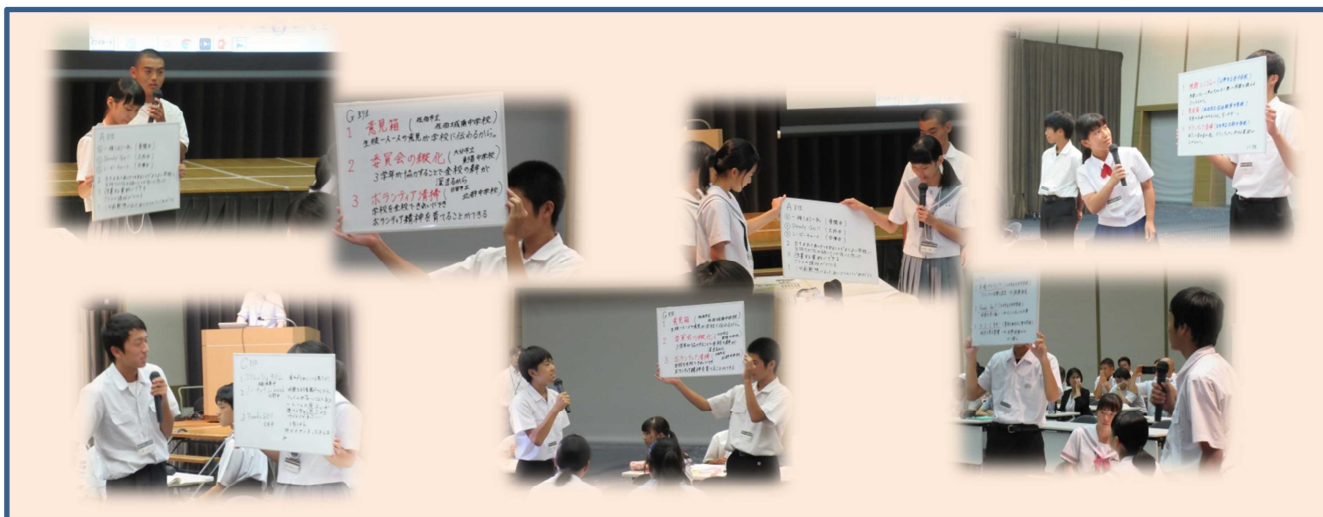
他校のよい取組にシールを貼る生徒

Ⅲ グループ別協議

テーマ：自校に取り入れたい取組、他校に紹介したい取組



Ⅳ 全体交流



Ⅴ 閉会行事

振り返り・講評 大分県教育庁義務教育課参事 武野 太

【要旨】

- 学校はみんなのような中学生のためにあるのだから、みんなが学校では主役でなくてはならない。
- 学校に帰ったら、全校のみんなが幸せになっているか、振り返ってもらいたい。
- 全校の生徒が幸せで、生徒が主役の学校にするためには、それぞれの学校で、各取組を計画・実行した後には、評価をし改善を加えることが大切である（PDCAサイクルが重要）
- 学びに向かう学校づくりの取組を今後も継続させ、それぞれの学校の文化になるようにしてもらいたい。
- 2学期以降、他校のよいところなどを取り入れて、更に自分たちの学校がよくなるように頑張ってもらいたい。

